

新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

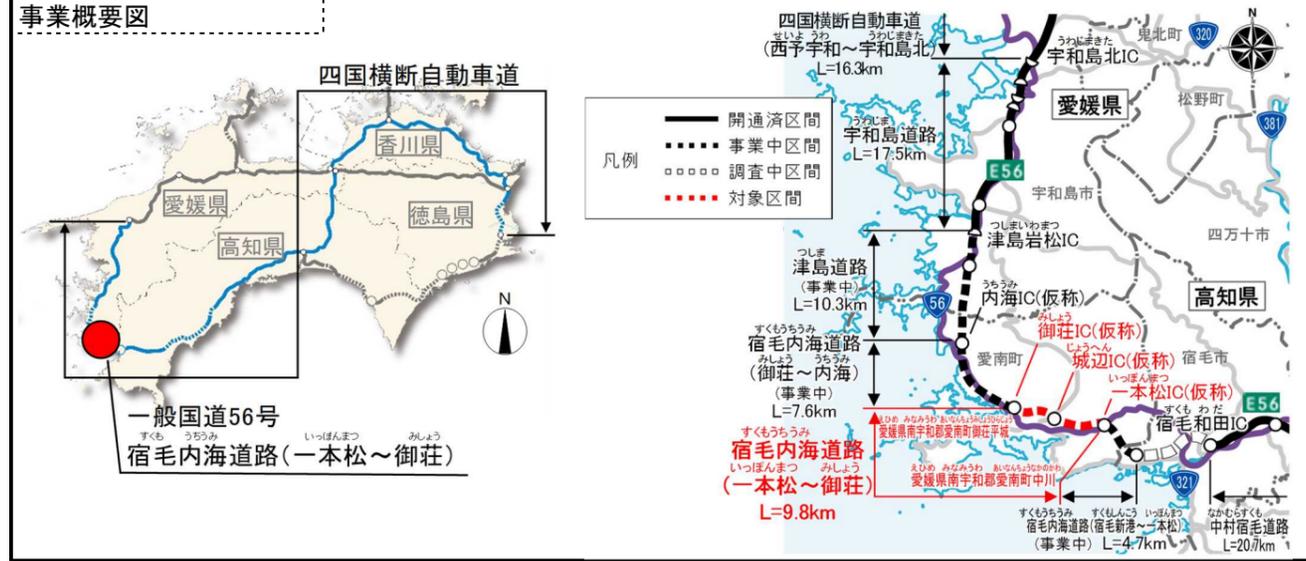
事業の概要

事業名	一般国道56号(四国横断自動車道) 宿毛内海道路(一本松～御荘)	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自:愛媛県南宇和郡愛南町中川 至:愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城	延長	9.8km		

事業概要
宿毛内海道路(一本松～御荘)は、四国横断自動車道の一部を構成する道路で、愛媛県南宇和郡愛南町中川から同町御荘平城に至る延長9.8kmの自動車専用道路である(四国横断自動車道は徳島県阿南市から高知県四万十市に至る阿南四万十線と愛媛県南宇和郡愛南町から愛媛県大洲市に至る愛南大洲線で構成される高規格道路)。

事業の目的、必要性
当該区間の整備により、南海トラフ地震発生時に住民の避難や緊急物資の輸送を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成するとともに、都市部や空港、高次救急医療機関等へのアクセス向上により、四国西南地域における観光振興や地域産業、緊急搬送などの医療活動を支援するものである。

全体事業費 : 約450億円 計画交通量 : 約4,600台/日



関係する地方公共団体等の意見
【愛媛県知事】
一般国道56号(四国横断自動車道)「宿毛内海道路(一本松～御荘)」の予算化について同意します。
宿毛内海道路は、南海トラフ地震等の大規模災害発生時に迅速かつ円滑な救援活動や緊急輸送を支える「命の道」であり、県民の安全・安心な暮らしの確保に寄与するほか、交流人口の拡大による賑わいの創出、主要産品である柑橘、水産物等の物流効率化など、地域経済の活性化を図るうえでも重要な役割を担うことから、県民一同、早期完成を待ち望んでいます。本県としましては、事業が円滑に推進されるよう、埋蔵文化財調査や用地買収、建設発生土の有効利用に係る調整等に最大限協力するとともに、御荘IC(仮称)や城辺IC(仮称)へのアクセス道路、高速道路と一体となって機能する防災休憩施設など、関連する事業の推進に、沿線自治体である愛南町と連携して取り組んでまいります。
つきましては、「宿毛内海道路(一本松～御荘)」の令和6年度新規事業としての予算化に特段の配慮をお願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見
・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件
・費用対便益 : 便益が費用を上回っている。
・手続きの完了 : 計画段階評価手続き完了(平成31年2月28日)、都市計画決定手続き完了(令和3年12月10日)

事業評価結果

担当課:道路局 国道・技術課
担当課長名:高松 諭

費用便益分析 (参考)	B/C	1.9 (0.4)	EIRR	8.2% (-0.7%)	総費用	34,641億円	総便益	67,364億円	基準年	令和5年
		2.3 (0.5) [2%]			事業費: 29,743億円 維持管理費: 4,498億円 更新費: 400億円		走行時間短縮便益: 58,830億円 走行経費減少便益: 6,906億円 交通事故減少便益: 1,628億円			
		2.6 (0.7) [1%]			感度分析	交通量変動	B/C=1.7~2.2 (変動ケース:±10%)			
						事業費変動	B/C=1.9~2.0 (変動ケース:±10%)			
						事業期間変動	B/C=1.9~1.9 (変動ケース:±20%)			

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	者への影響 自動車や歩行	渋滞対策	-
事故対策		-	注目すべき影響はない。
歩行空間		-	注目すべき影響はない。
社会全体への影響	住民生活	◎	【速達性・アクセス性の向上により医療活動を支援】 ・愛南町から第三次救急医療機関までの搬送時間が短縮され、地域で生活が営める環境を維持。 [愛南町役場から市立宇和島病院までの搬送時間が短縮] 現況 50分 ⇒ 整備後 33分 (約17分短縮) [愛南町、高知県宿毛市の第三次救急医療圏域の60分圏域人口カバー率が増加] 現況 約17,000人 ⇒ 整備後 約32,900人 (15,900人増) [国道56号(愛南町中川～御荘平城)の事故危険区間] 現況 2箇所(国道56号) ⇒ 整備後 0箇所(宿毛内海道路(一本松～御荘))
	地域経済	◎	【観光振興や産業振興に寄与】 移動時間短縮が図られ、都市部との広域ネットワークの拡大により、円滑な物流網の構築や愛媛県南予地域の魅力を向上。 [松山空港から愛南町役場までの所要時間が短縮] 現況 131分 ⇒ 整備後 111分 (約20分短縮)
	災害	◎	【信頼性の高いネットワークの確保・災害に強いまちづくりを支援】 ・浸水しない信頼性の高いネットワークの構築により、持続可能な地域生活圏を維持。 [愛南町中川～御荘平城間を移動する経路における津波浸水予測区間の延長] 現況 約3.1km(国道56号経由) ⇒ 整備後 0km(宿毛内海道路(一本松～御荘)経由)
	環境	-	注目すべき影響はない。
	地域社会	◎	・城辺IC周辺の防災拠点を中心に、沿線地域間の連携を強化し、防災まちづくりの促進に寄与。
事業実施環境		○	・計画段階評価手続き完了(H31.2.28) 都市計画決定手続き完了(R3.12.10) ・愛媛県知事や沿線自治体首長より早期事業化を要望

採択の理由

費用便益が一体評価で1.9と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、宿毛内海道路(一本松～御荘)の整備により防災機能の強化・災害に強いまちづくりを支援し、観光振興や産業振興支援、安全・安心な医療アクセスの確保など事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
※B/Cの上段はいよ小松JCT～高知JCTを対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([] 内は社会的割引率の値)

新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

事業評価結果(防災機能)

事業の必要性		
<p>南海トラフ地震による深刻な被害が予測される地域において、国道 56 号の代替路として円滑な救援活動・物資搬送を支援するとともに、広域観光周遊ルートを活用した地域の観光振興や養殖マダイに代表される地域産業支援、高度救急医療などを行える第三次救急医療機関への搬送時間短縮などに寄与するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> 当該道路に並行する国道 56 号は南海トラフ地震の津波により約 3 割が浸水。 城辺地区は、災害時の広域的な防災活動の中心施設が集積しており、いち早く国道 56 号を啓開し愛南町全体へ救援活動・物資輸送を行うため、城辺地区へ接続する緊急輸送道路の確保が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画(H28.3) ・圏域の安全・安心を支える基盤として必要不可欠なインフラである四国横断自動車道、高知東部自動車道及び阿南安芸自動車道等の整備の推進による四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ※四国地域新広域道路交通計画(R3.6) ・規格の高い道路と一般国道等の一般道とのダブルネットワークを構築、規格の高い道路のミッシングリンクの解消を進めて多重性・代替性を確保する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> 愛南町には高度救急医療などを行える救急医療機関がなく、重篤患者の救急搬送は隣接する宇和島市、宿毛市の高次救急医療機関に依存。 当該地域唯一の緊急輸送道路である国道 56 号を利用しているが、一本松 IC～御荘 IC の並行区間には、事故危険区間が 2 箇所、急カーブ箇所が 1 箇所あり、患者の負担が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画(H28.3) ・自然災害発災後の救助・救急、医療活動等やサプライチェーンの寸断回避を図るため、四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ・地域に即した「コンパクト+ネットワーク」の構築を図るため、都市の生活を支える都市機能(医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業)のあるエリアへ誘導する。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛県全体の観光客数は増加傾向であるが、愛南町の観光客数は減少傾向であり、県都松山市からの周遊観光促進には移動時間の短縮が課題。 愛南町では全国生産量トップの「河内晩柑」等の農産業や全国生産量 2 位の「養殖マダイ」等の水産業が盛んだが、急カーブや縦断勾配など線形不良区間を通過するため、速達性などの輸送効率が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画(H28.3) ・広域観光周遊ルートの形成により複数の県に跨って、テーマ性・ストーリー性等を持った一連の魅力あふれる観光地をネットワーク化。 ・圏域内外の交流活性化、物流基盤機能強化等による活力と魅力の向上に必要不可欠なインフラとして、四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ※えひめ農林水産業振興プラン 2021(R3.3) ・マダイ、柑橘類等のブランド化、販売促進、持続的な農林水産業の発展を目指す。
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> 当該事業の実施により、防災機能ランクの評価に変化はないものの、不通リンクの解消や累積脆弱度の改善によりネットワーク全体の防災機能が強化される。 また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成されるとともに、速達性向上による観光振興や地域産業支援、高度救急医療などが行える第三次救急医療機関への搬送時間短縮に寄与するなど、有効性の高い事業と評価できる。 									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度(防災機能ランク)		累積脆弱度の 変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	愛媛県庁	愛南町	75 (5)	0.61 [C]	0.37 [C]	838.24 (17.51)	0.20 (0.06)	0.30 (0.60)	○ (◎)

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> 計画段階評価手続き完了(平成 31 年 2 月 28 日)、都市計画決定手続き完了(令和 3 年 12 月 10 日)

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は、いよ小松JCT～高知JCTを対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。